

2021年 5月17日

会 員 各 位

一般社団法人
北海道認知症グループホーム協会
会長 宮崎直人（公印省略）

新型コロナによる北海道の緊急事態宣言に伴う情報提供について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃は当協会の運営につきまして、多大なるご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナの感染拡大状況を踏まえ、北海道に5月16日に緊急事態宣言が発出されたところ
です。変異型ウィルスの感染も増えている中で、当会会員の事業所での下記の取り組みについて情報提
供いたします。

各々の事業所での感染対策のご参考にしていただければ幸いです。感染症対策等に努めていただくよ
うお願いいたします。

敬具

～グループホームこもればの家・めぐみの新型コロナウイルス感染対策の取組～

変異型ウィルスの感染力が従来よりも高い事を踏まえて、日常の感染対策のレベルを上げて支援してい
る事を報告いたします。各事業所の特性を考慮し各々考えられることをしていきましょう。

今や地域では市中感染が起こっている事を踏まえると、常に家庭内感染で感染している事を想定しサー
ビス提供を行う事を考え、塚本先生に評価をしてもらい現在の感染対策を実施しています。

① マスクをしていても感染する可能性がある

そのアドバイスを受け、グループホームではユニット内で職員がマスクを外す場面を検討しました。
マスクを外すと更に感染確率が上がると考えられるためユニット内でマスクを外さないようにした。
距離を保ってユニット内で食事、飲水すること、鼻水をかむ時、汗を拭く時等々、ユニット内で行
っていた事を取りやめ、ユニットから出て行うこととした。

② 目からの感染にも注意

目からの飛沫を防ぐため、ふいに目をこする等、目からの感染も多くみられているため、マスク、
アイシールド、フェイスシールドを使用しています。

③ 手指衛生・手洗い

支援、介助ごとに手洗い、もしくは手指衛生を行う。手指衛生の強化を行っている。職員一人一人にアルコールのスプレーボトルを付けて手指衛生を行う。飲水の前に手指衛生、たばこを吸う前に手指衛生、マスクを外すタイミングで手指衛生の見直しを行い、目鼻口の触る前、髪をさわったら手指衛生等、お互いに気が付かないポイントは声掛けしあうようにしている。

④ 換気の徹底

小まめな換気は、日ごろから行っていますが、冬季間ではないので風の通りをみて常に窓をあけ空気の流れを行っています。

⑤ 職員のトイレ

ウィルスは、肺と腸に入る事が多く、職員の排泄に関しても日頃から留意すること、職員と利用者のトイレは分けること、排泄後は換気、消毒等の徹底をおこないます。

⑥ 入居者の排泄支援について

排泄支援に関しては、ディスポエプロンを使用して都度破棄を行っている。

⑦ 体調観察

入居者の体調管理を特に検温1日4回行っているこれは昨年の10月から実施
起床時、10時、14時、16時と検温を行っている。

早期に対応できるよう、初動の動きを速やかにするためにしている。

※起床時、10時、14時の検温時発熱があった場合には、再検しても下がらず熱がある場合には発熱外来へ、16時以降の場合に発熱は続いた場合にはゾーニングを行う。

⑧ 物資

衛生材料、マスクの備蓄の強化を実施している。特に45ℓごみ袋エプロン、軽介助用のエプロンを作成している。

⑨ かかりつけ医と訪問看護と小まめな情報の交換を実施。

ホームで陽性者が出た場合の対応の確認を感染拡大と共に対応してもらえるのか、状況に応じて変更することもあり確認作業を行っている。